

# 電脳スタイルを作り変えている話

Denrou6.sty から dennou777.cls へ

北海道大学理学部 ひとみさん (人見祥磨)

令和元年9月3日

発表資料: <http://www.circle9.work/tex/bunkakai/>

# 自己紹介

- 北海道大学 GFD 研究室 B4
- CTAN にパッケージをひとつ上げている
  - ▶ hmtrump パッケージ
  - ▶ <https://www.ctan.org/pkg/hmtrump>
  - ▶ トランプのカードを表現するためのパッケージ
  - ▶ T<sub>E</sub>X Live に入ってます
- epNetFan で T<sub>E</sub>X 入門を講演
  - ▶ <http://www.circle9.work/tex/eptex/>
- T<sub>E</sub>X 自体は 4 年前から使っている



# やってること

電脳スタイル dennou6.sty の改修

- バグの原因を修正
- 非推奨なコマンドの除去
- ニュー・スタンダードを取り入れる

中身がかなり書き換わる → 新しく開発

電 脳 ス リ ー セ ブ ン  
dennou777.cls

<https://github.com/Hitomi-San/dennou777>

最新バージョン: 2019-09-03 version 7.0.6 (Nicole)

ぜひ皆さんも利用して、issue など投げてください

# 動機

## どうして開発しようと思ったのか

- dennou6.sty の最終更新が 2001 年
  - ▶ 2001 年から、今までにあった T<sub>E</sub>X の出来事
    - ▶ pT<sub>E</sub>X が T<sub>E</sub>X Live に収録された
    - ▶ 日本語 T<sub>E</sub>X 開発コミュニティの登場
    - ▶ LuaT<sub>E</sub>X など、新しいドライバの登場
- 非推奨なコマンドが多用されている (i.e. `\bf`)

dennou6.sty が時代に追いついていない  
(逆に古すぎて有害)

# 動機

## どうしてクラスファイル (\*.cls) として開発するのか

- 電脳スタイルの性格上、クラスファイルが最適と判断
  - ▶ D6style.sty 相当の機能
  - ▶ ページスタイルの定義
  - ▶ 見出しの定義
- jntカ.cls と Dennou6.sty の組み合わせを排除したい
  - ▶ jntカ.cls は非推奨
  - ▶ jstntカ.cls のほうが良い
  - ▶ jlreq.cls など新しいものも登場

# 開発の方針

- Version 6 と同様な機能を提供する
  - ▶ 完全に再現することは保証しない
- 非推奨な記述は改める
- $\text{p}\text{\LaTeX} + \text{dvipdfmx}$  以外の方法もサポートする
  - ▶  $\text{up}\text{\LaTeX} + \text{dvipdfmx}$  や  $\text{Lua}\text{\LaTeX}-\text{ja}$  など
  - ▶  $\text{X}\text{\LaTeX}$  は日本語するための土台が不十分なので対象外

# 開発の方針

## jlreq をベースにする

- jlreq は p $\text{\LaTeX}$ , up $\text{\LaTeX}$ , Lua $\text{\LaTeX}$  に対応
- 版面構成のオプションが多い
- `\LoadClassWithOptions{jlreq}`

## D6style の機能は jlreq で実装

- `\NewPageStyle` の利用
- ヘッダーとフッターの罫線を出力するオプションがない
  - ▶ fancyhdr の利用を試みたが……
  - ▶ `\NewPageStyle` したものが上書きされる
  - ▶ とりあえず罫線は諦める
- ヘッダーとフッターの書式は再現できた (はず)



# 開発の現況

- D6style 相当の機能は提供できている
- バグがいくつか残ってる (ドキュメントに記載)
- 未実装の機能は dennou6 のファイルを直接利用している
  - ▶ `\let\bf\bfseries` とかして誤魔化してる
  - ▶ つぎは D6math に手を付けたい
- jlreq の不具合・仕様変更が直撃するのをどうにかしたい
  - ▶ description 環境の左余白とか